

小学校6年生 外国語

Unit3「Let's go to Italy .」(全8時間)

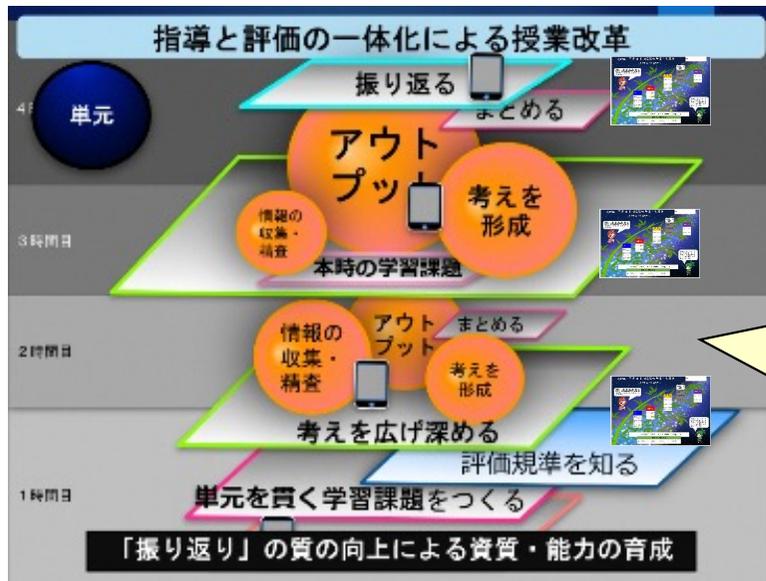


参考資料

- ・HEW HORIZON Elementary(東京書籍)
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
小学校 外国語・外国語活動 (国立教育政策研究所)
- ・新潟市版CAN-DOリスト(新潟市教育委員会)

スライド作成にあたって

①【NEW HORIZON Elementary】(東京書籍) ②【指導と評価の一体化】のための学習評価に関する参考資料(外国語・外国語活動)】(国立教育政策研究所) ③【新潟市版CAN-DOリスト】(新潟市教育委員会)を基に単元プランとして構成しています。



単元構成の特徴

本プランは、【指導と評価の一体化】及び【新潟市令和の授業づくり】、【新潟市版CAN-DOリスト】を踏まえ、子どもが学習の見通しをもち、自分で学習を振り返りながら進められるように作成しました。

教科外国語では、定着を目指し、CAN-DOリストの活用が求められています。新潟市では、新潟市版CAN-DOリストを作成しました。教師の活用もそうですが、子どもの学習の自覚化にも活用できるように作成しています。授業の節目、節目で、子どもたちが、手軽に振り返ることができるようにしていきます。

凡例

主な学習活動



具体的な
子どもの姿

目指す子どもの姿

評価の具体的な姿【資質・能力】



教材と出会う

(1・2時間目)

学習する内容や場面(世界旅行や旅行案内)に出会う!

あんな国に言ってみたいなあ

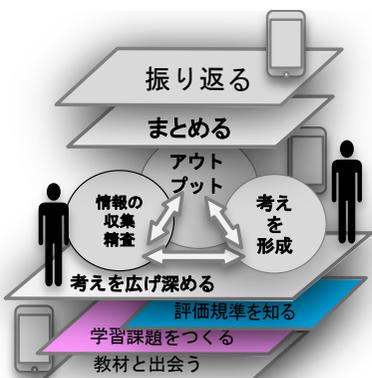
あの国を調べて紹介したい!



外国への興味関心を高める。

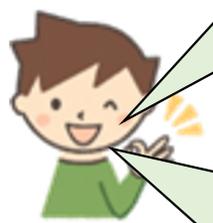


世界の国々への憧れや想いを醸成する。



学習課題をつくり，評価規準を知る (1・2時間目)

先生や友だち等におすすめの国を紹介しよう！
何(情報・伝え方・英語)が必要かな？



単元末の言語活動は...
旅行代理店でおすすめの国を友達や先生，外国の人 (ALT) 等に紹介する。

必要な言語材料は...
Where do you want to go?
I want to go to....
You can see....
You can eat....
It's

評価規準を知り，学習の見通しをもつ。
今回は，世界の国について紹介するから，行きたい国やおすすめの国を聞いたり，話したりする。それから，それを英語で書きたいな。



新潟市版CAN-DOリスト など



評価規準をつかったり，確認したりする。

単元終末の言語活動をイメージし，必要な言語材料を知る。



考えを広げ, 深める

(3・4時間目)

言語材料(主に英語表現)に慣れ親しむ

【Read & Write】



Italy is a nice country.

You can see the Colosseum.

【Try(Speaking)】

I can eat pizza.

Why do you like Italy?



【Try(Writing)】

(手本をみたり, なぞったりしながら)

You can buy chocolate.
It's delicious.



デジタル教材を使い, 十分に慣れしませる。

【Listen】



China?
Italy?



【ポイント】

デジタル教材等を活用し, 4技能5領域を繰り返し慣れ親しむことが大切です。

Where do you want to go?/ I want to go to... やその理由の言語材料に慣れ親しむ。

国紹介の話について, 絵と共に示されれば, 場所や特徴を聞き取ることができる。【知識・技能】



考えを広げ、深める

(5時間目)

おすすめの国を調べ、紹介する準備をする

【調べる・つくる】

紹介したい国の資料を集め、プレゼンテーションを作成する。



【試す】

Where do you want to go ?

I want to go to Italy.

Wow!

Really?

Italy is a nice country.
You can see the Colosseum.
You can eat pizza.
It's delicious.

【ポイント】

資料集め等は、宿題にするのも良いです。また、作成する時は、「つくる⇔試す」を繰り返しながら行うのも1つの方法です。

おすすめの国の資料を集め、言語材料と組み合わせて、プレゼンをつくる。

身近な人と互いの好きな国について、内容（好きな国、その理由、できることなど）を理解しながら、やり取りすることができる。【思考・判断・表現】



考えを広げ、深める

(6時間目)

単元末の言語活動への工夫を考える

Italy is a nice country.
You can see
the Colosseum.
You can eat pizza.
It's delicious.



どうやったらもっと魅力的に伝えられるかな？



行きたくなる材料（名所や食べ物）をもっと加えよう！



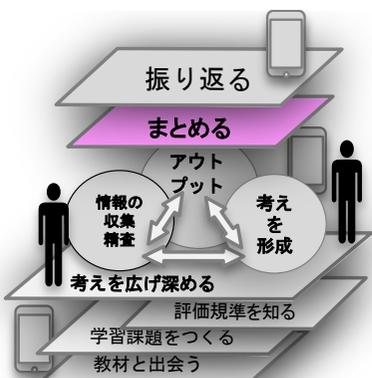
伝わりやすい表現の仕方を工夫しよう！

中間評価として、自分の学習を振り返る。



新潟市版CAN-DOリスト

先生や友だちのアドバイスをもとに、より魅力的なプレゼンをつくる。



まとめる

(7・8時間目)

先生や友だちにおすすめの国を紹介する

You can eat pizza.
It's delicious.

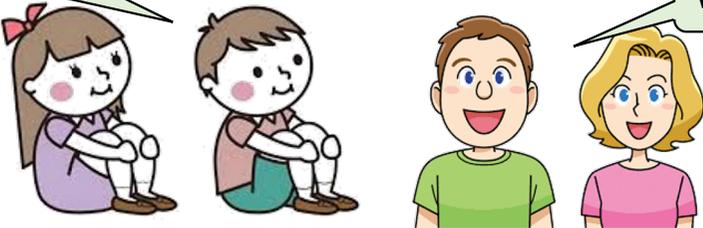
Yes. I like pizza.



Italy is a nice country.
You can see the Colosseum.
Do you like pizza?

You can watch soccer.

Wow, I like soccer.



WEB資料
ロイロノート
プレゼンソフト

自分のおすすめの国を相手に応じて、発表する。

【ポイント】
一方的な発表にならないように相手の反応に応じて、発表していくことが大切です。

おすすめの本を先生や友だちが興味をもって聞いてくれて、行ってみたいと言われてとても嬉しかったです。

おすすめの本を相手に応じて、発表する。

おすすめの本について、行きたい、見たい場所等を紹介することができる。【思考・判断・表現】



振り返る

(7・8時間目)

単元を通して、学習を振り返る

単元を通して、自分ができるようになったことが増えていくことをCAN-DOリストを活用すると、分かるよ。

単元を通して、自分の学習を振り返り、できるようになったことを自己評価する。



新潟市版CAN-DOリスト

【ポイント】

総合的評価は、記述されている資質・能力に縛られず、実態に応じて場面を変えたり、精選したりしましょう。

分からない英語を自ら調べたり、人に聞いたりしながら読んだり、書いたりしようとしている。
(粘り強い取組を行おうとする側面)

友達と協力しながら、互いの気持ちや考えを理解し合おうとしている。(支援)

【主体的に学習に取り組む態度、学びに向かう力・人間性等】